

がん治療認定医制度のセミナーと試験方法 —特に新型コロナウイルス感染症蔓延下の対応—

理事 滝口 裕一



2007年に開始したがん治療認定医制度ですが、2021年は16回目(初年度は希望者多数のため、認定試験を2回行った)のセミナーと試験となります。関係者一同の力を結集して現在鋭意準備中です。これまで毎年11月頃の土曜朝から日曜の午前中にかけてすべてのセミナーを集中的に行い、引き続き同一会場で日曜午後に試験を行うのが通例でした。毎回1,200~1,500名の医師・歯科医師が受験するため、幕張メッセやインテック大阪のようなマンモス会場を使つての一大イベントと言えるものでした。各分野の第一人者がテキスト執筆、スライド作成を行うことに加え、15年間ものノウハウが蓄積されたテキスト、セミナー内容の充実ぶりには定評があります。しかし2020年からこの形態が大きく変革を迫られることとなりました。いうまでもなくCOVID-19の蔓延を受けてのことです。感染予防の観点からは1,000人以上の医師・歯科医師が2日間にわたって同一会場にお集まりいただくことは到底許されるはずありません。セミナーは事前に収録したビデオを1週間にわたってWeb配信し、筆記試験は11月22日に札幌、仙台、東京、大阪、福岡の5会場で分散実施することに致しました。4会場では無事に実施できましたが、札幌では当時感染患者の急増により警戒レベルが4になったことにより急遽中止致しました。当機構としてもどうしても避けたい事態でしたが、やむを得ずの苦渋の決断でした。もともと5会場での予約にあたって各会場で人数制限を設けるなど受験される先生方には大変なご迷惑をおかけしておりましたが、さらに札幌会場に予約なさっていた先生方には大きな損失を被らせることとなったことに心より深謝申し上げます。このような状況にもかかわらず2020年は980名(医師895名、歯科医師85名)が受験なさり、802名が合格されました。診療でお忙しい中、特に2020年はご施設でのCOVID-19対応に

ご多忙の先生も多かったもの

と推察致しますが、そのような環境にもかかわらず優れた成績で合格された先生方の日頃のご研鑽とご努力に心より敬意を表します。

2021年も単一会場での実施は断念し、1週間程度のe-learningに引き続き10月31日(日)に全国7か所(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)で分散実施の予定です。昨年の札幌会場のようなことがないよう祈るばかりですが、感染リスクが高い中での実施は、複数の医療機関でのクラスター発生に帰結し兼ねません。ご理解いただければ幸いです。日程的な制約から2021年実施は見送りましたが、今後はcomputer based testing (CBT)を導入し、リスクをさらに分散することも検討しております。感染蔓延はいつまでも継続するものではないでしょうが、試験会場を分散することは受験する先生方の負担軽減にもつながるのではないかと考えております。もちろんCBTには欠点もありますので現在も検討中であることをご理解下さい。

1年以上にわたって全世界における公衆衛生上の最大の問題であり続け、全人類の日常活動を大きく損ね続けているこの感染症が1日も早くコントロールされることを祈念するものですが、2021年に受験をご検討の先生におかれましてはどうぞご自身のご健康に留意され、受験に向けてのご準備をなさって下さい。がん治療認定医制度を先生の今後の診療、キャリア形成にお役立て下さいますようお願い申し上げます。

がん治療認定医総数

17,511 名

がん治療認定医(歯科口腔外科)総数

585 名

2021年4月1日現在

▼ 目 次

がん治療認定医制度のセミナーと試験方法	1
2020年度認定医試験報告	2
2020年度認定医および認定研修施設審査結果報告	2
役員一覧	2
2022年度がん治療認定医・がん治療認定医(歯科口腔外科)の更新手続きを迎える方へ	3

2021年度がん治療認定医・がん治療認定医(歯科口腔外科)の更新手続きについて	3
2021年度教育セミナー開催概要	4
2021年度認定医試験開催概要	4
編集後記	4

2020 年度認定医試験報告

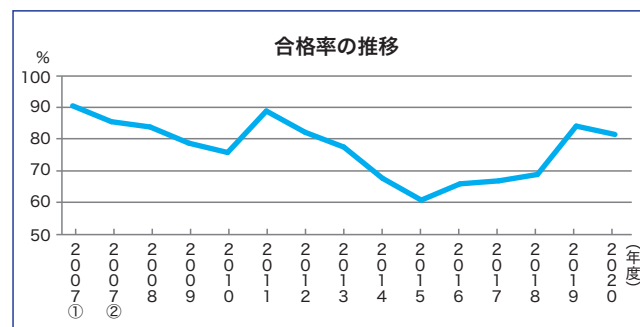
教育委員会

副委員長 井本 滋



2020 年 11 月 22 日に第 15 回がん治療認定医試験が実施されました。滝口委員長が巻頭言で報告されていますのでご確認ください。当日、私は東京会場にて試験監督を務めましたが、大きな混乱もなく無事に終えることができました。さて、昨今の免疫療法の進歩、外科療法の低侵襲化、分子標的療法の多様化、精密医療と遺伝性腫瘍の保険診療化など、認定医の取得には高度ながんの基礎知識が要求されます。一方、コロナ禍でもあり、これまでの 1 日半の集中講義から e-learning による繰り返し学習ができるようになりました。但し、様々な分野の医師と歯科医師にとって専門分野以外を学習し理解することは容易なことではありません。今回の合格率（右図）は、問題の難化と e-learning の効果が複合した結果と考えます。今後も試験問題の質の向上を図り専門家を交えた品

質管理に努めますが、受験者の皆様にはがん診療における広範な知識を整理する良い機会ととらえていただき、是非とも資格の取得を目指して下さい。がん患者に安心を届けるがん治療認定医が活躍する社会を心から願っております。



2020 年度認定医および認定研修施設審査結果報告

資格審査委員会

委員長 檜山 英三



2020 年度のがん治療認定医認定は 760 名の新規認定と、猶予を含めて 2,199 名の更新認定（1 回目 897 名、2 回目 1,302 名）を行いました。コロナ禍の中で e-learning による教育セミナーと、全国 5 か所の認定医試験を踏まえての新規認定となり、例年に比べ新規認定数が減少したのは、コロナ禍での札幌会場で試験中止により本年の試験合格者数が減少したためと考えています。一方、更新合格者数は、ほぼ例年通りでした。現時点で、がん治療認定医が 18,000 名に、がん治療認定医（歯科口腔外科）が 600 名に迫るとともに、更新手続きを終えて指導責任者の資格を得た医師が 10,000 名をゆうに超えました。

また、昨年改訂した認定研修施設審査基準のもとでの初めての認定施設審査を行いました。新規申請 12 件中 7 件

を合格とし、一方、更新は 64 件全施設で更新可としましたが、20 件は条件付き更新で、新規基準に早期に到達することを更新条件としました。本機構の研修施設が患者相談、病理診断や緩和医療体制を含めたがん診療を提供できる施設としてより充実する方向に進み、本機構の活動が認定医の養成のみならず、認定施設の日常のがん治療水準向上にも寄与し、本機構の目指す方向に着実に進んでいるといえます。

2020 年度がん治療認定医審査結果

新規合格者数 **760 名**
更新合格者数 **2,199 名**

役員一覧

- 理事長** 西山 正彦（東札幌病院）
- 副理事長** 中釜 斉（国立がん研究センター）、大江 裕一郎（国立がん研究センター中央病院）
- 理事** 青木 大輔（慶應義塾大学）、井本 滋（杏林大学）、佐谷 秀行（慶應義塾大学）、滝口 裕一（千葉大学）、藤 也寸志（九州がんセンター）、中山 治彦（神奈川県立がんセンター）、西村 恭昌（近畿大学）、野々村 祝夫（大阪大学）、馬場 秀夫（熊本大学）、張替 秀郎（東北大学）、檜山 英三（広島大学）、藤原 俊義（岡山大学）、南 博信（神戸大学）、森 正樹（九州大学）
- 監事** 清水 研（がん研有明病院）、西田 俊朗（大阪病院）

重要 2022 年度 がん治療認定医・がん治療認定医(歯科口腔外科)の更新手続きを迎える方へ

1. e-learning システムの受講について

直近の教育セミナーの講義を、期間中いつでもどこでも何度でも学ぶことができます。

- 全 32 講義のうち、以下の (1) および (2) を修了した場合に、「修了証」受講証明書を発行します。期限までに必ず修了してください。
- テキストの PDF は、各講義の Web サイト内に掲載します。冊子体の配布はありません。(必要な方は、別途ご購入ください。)

(1) 必須受講分野 (7 分野)

- 遺伝性腫瘍
- 画像診断学
- 外科治療学概論
- 化学療法概論
- 分子標的薬概論
- 免疫療法概論
- 放射線療法概論

各講義受講後
ミニテスト 5 問
全問正解必須

ミニテストは正誤問題です。全問プリントアウトすることが可能ですので、わからない問題があれば解答する前に再度 e-learning を受講して確認することができます。また、全問正解するまで何度でも受験できます。

(2) 選択受講分野 (6 分野の中から 3 分野を選択)

- がんの生物学・分子生物学
- 病理学
- 緩和医療特論
- 精神腫瘍学
- がん救急
- がんの診療と倫理

各講義受講後
ミニテスト 5 問
解答任意
(全問正解する必要はありません)

2. 更新手続きスケジュール

e-learning を長期間受講できるよう、申込開始時期を 2022 年の 2 月からとします。

〈2022 年度更新の対象となる方〉

認定の有効期限日*が 2023 年 3 月 31 日の方 (更新猶予認定者除く)

*「認定証」またはホームページ内「変更届システム」より確認できます。

https://www.jbct.jp/sys_auth_listap/

〈スケジュール〉

2021 年 12 月中旬 更新のご案内郵送

2022 年

2月～	6月中旬～	9月初旬	9月中旬	9月末
審査料入金				
e-learning受講+ミニテスト受験 ⇒ 「修了証」発行				
	審査Web申請* ⇒ 書類印刷・捺印			
	申請書類郵送			

具体的な日程については、2021 年 12 月中旬に郵送する「更新のご案内」およびホームページで発表いたします。
※申請資格 (診療実績、学会参加など) についてはホームページでご確認ください。

<https://www.jbct.jp/renew/>

注) 必ず更新資格の有無を確認してから e-learning の申込をしてください。e-learning 受講中または受講後に申請資格が不足していることが判明した場合でも、審査料は返金いたしません。

2021 年度

がん治療認定医・がん治療認定医(歯科口腔外科)の更新手続きについて

2020 年 10 月に「更新手続きに関する通知」をメールおよび郵送にてお知らせしておりますとおり、2021 年 2 月より、e-learning の申込を開始しております。

e-learning の受講を修了した方は、6 月より Web にて審査申請をおこない、期限までに申請書類を事務局まで郵送してください。

〈2021 年度更新の対象となる方〉

認定の有効期限日*が 2022 年 3 月 31 日の方 (更新猶予認定者除く)

*「認定証」またはホームページ内「変更届システム」より確認できます。

https://www.jbct.jp/sys_auth_listap/

2021 年

2月～	6月中旬～	9月初旬	9月中旬	9月末
審査料入金				
e-learning受講+ミニテスト受験 ⇒ 「修了証」発行				
	審査Web申請* ⇒ 書類印刷・捺印			
	申請書類郵送			

〈申請資格〉

ホームページでご確認ください。

<https://www.jbct.jp/renew/>

注) 必ず更新資格の有無を確認してから e-learning の申込をしてください。e-learning 受講中または受講後に申請資格が不足していることが判明した場合でも、審査料は返金いたしません。

2021年度 教育セミナー開催概要

開催に関する詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2021年10月22日(金)
～10月30日(土)24時

開催方法 Webによる開催

申込期間 7月1日(木)～8月6日(金)
本機構HPよりお申込のうえ、所定の金額をご入金ください。

定員 1,500名

費用 教育セミナーのみ 14,410 円
認定医試験のみ 14,410 円
セミナー・試験両方 25,410 円
※いずれもテキスト代・事務手数料・消費税込

! テキストは、8月下旬に送付いたします。
必ず事前に予習をしたうえで、受講・受験に臨んでください。

●教育セミナー 講義内容一覧

I：がん治療に求められる基盤的知識

1. がんの生物学・分子生物学 (土原 一哉・国立がん研究センター)
2. 遺伝性腫瘍 (横井 左奈・千葉県がんセンター)
3. 腫瘍免疫学 (北野 滋久・がん研究会有明病院)
4. がんの疫学・がん検診 (井上 真奈美・国立がん研究センター)
5. 臨床研究と統計学 (水澤 純基・国立がん研究センター)
6. 病理学 (分子病理学を含む) (牛久 綾・東京大学大学院)
7. 画像診断学 (遠藤 正浩・千葉大学)
8. 外科治療学概論 (調 憲・群馬大学医学部附属病院)
9. 化学療法概論 (小野 麻紀子・がん研究会有明病院)
10. 分子標的薬概論 (林 秀敏・近畿大学医学部)
11. 免疫療法概論 (各務 博・埼玉医科大学国際医療センター)
12. 放射線療法概論 (生島 仁史・徳島大学大学院)
13. 緩和医療特論 (松本 禎久・国立がん研究センター東病院)
14. 精神腫瘍学 (サイコオンコロジー)
(和田 信・大阪国際がんセンター)
15. がん救急 (岡本 渉・広島大学病院)
16. がんの診療と倫理 (野口 瑛美・国立がん研究センター中央病院)

II：各種悪性疾患の診断と治療の基本原則

1. 脳腫瘍 (岩立 康男・千葉大学)
2. 頭頸部がん (丹生 健一・神戸大学)
3. 食道がん (竹内 裕也・浜松医科大学)
4. 胃がん (坂東 英明・国立がん研究センター東病院)
5. 大腸がん (佐竹 悠良・関西医科大学附属病院)
6. 肝がん (上嶋 一臣・近畿大学)
7. 胆道がん・膵がん (小田 竜也・筑波大学)
8. 肺がん (関 順彦・帝京大学)
9. 乳がん (高橋 将人・北海道がんセンター)
10. 婦人科がん (大石 徹郎・鳥取大学医学部附属病院)
11. 骨・軟部腫瘍 (尾崎 敏文・岡山大学)
12. 泌尿器科腫瘍 (杉元 幹史・香川大学)
13. 皮膚がん (藤澤 康弘・筑波大学附属病院)
14. 白血病 (矢野 真吾・東京慈恵会医科大学)
15. 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫 (池添 隆之・福島県立医科大学)
16. 小児がん (加藤 元博・東京大学大学院)

2021年度 認定医試験開催概要

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催方法が変更となる可能性があります。詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2021年10月31日(日)
13:00～15:20(予定) ※12:20会場(予定)

開催会場および定員 (予定)

東京(500名)：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
大阪(300名)：TKPガーデンシティ大阪梅田
札幌(80名)：TKPガーデンシティ札幌駅前
仙台(100名)：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
名古屋(150名)：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
広島(100名)：TKPガーデンシティ広島駅前大橋
福岡(150名)：TKP 博多駅前シティセンター

申込期間および費用については、左記教育セミナー開催概要をご覧ください。

認定研修施設

2021年度 更新手続・在籍報告について

更新手続

対象施設 2016年11月1日付で認定または更新認定された施設で、更新を希望される施設

更新手続 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設更新通知書」をお送りいたします。
(詳細は、ホームページ「認定研修施設更新申請」をご確認ください。)

在籍報告

対象施設 更新手続対象(上記)以外の施設

提出方法 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設在籍報告のお願い」をお送りいたします。
(詳細は、ホームページ「認定研修施設在籍報告書」をご確認ください。)

! 新たに「審査基準」が制定されました。ホームページをご確認の上、更新手続または在籍報告を行ってください。
<https://www.jbct.jp/facilities/qualification.html>



編集後記

このたび、JBCT ニュース第8号を発刊いたしました。2020年度の試験はコロナウイルス感染症の影響で初の分散開催となりました。感染拡大で中止となった札幌会場で受験予定となっていた先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。他の会場は大きな混乱なく試験を実施することができました。ただし、試験が分散開催になったことにより、恒例のセミナー、試験見学会は開催を見送らざるを得ませんでした。この会は関連学会の先生方から直接ご助言を頂戴する貴重な機会であっただけに非常に残念です。今後、先生方との情報共有の手段としてこのニュースがさらに重要になっていくと思いますので、より一層の紙面の充実を図ってまいります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

(広報・編集委員会委員長 張替秀郎)